

東京都クラブユースサッカー連盟 理事長就任のご挨拶
加盟クラブの皆様へ

この度、折井前理事長の後任として東京都クラブユースサッカー連盟の理事長を拝命いたしました丸茂 敦でございます。

前理事長をはじめ諸先輩、前会長、前副会長、理事の方々が築き上げてこられました実績と皆様からの信頼を踏まえ、加盟クラブ及び選手の競技力のさらなる向上ならびに本連盟のさらなる発展のために微力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様方のご指導、ご鞭撻並びにご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、ロシアワールドカップではベスト16進出。ベスト8までは後1歩の所まで強化された日本サッカー界。ドーハの悲劇から25年。25年前には考えられませんでした。日本代表はワールドカップ6大会連続出場をはたすなど近年急速な発展を見せております。（2002年は自国開催）

先日のアジアカップでも海外にて所属している選手がスタメン全選手になる時代が日本代表にもやってきました。そのアジアカップでは東京都出身の代表選手2名が決勝戦でも出場をしております。（GK権田選手FC東京出身・武藤選手FC東京出身）その他にも先日移籍が発表された、中島翔哉選手の移籍金は43億円。これまでトップであった、中田英寿元選手がローマからパルマに移籍した時が32億円と大きく上回り、東京都出身（ヴェルディ出身）の選手が日本のサッカー選手移籍金額トップとなっております。

さらに、Jリーグ都道府県別選手ランキング2018年では168名と2位の神奈川県の139名に対して29名の差を付けトップと国内最大の人口数を誇る東京かもしれませんが、J1選手数でも55人と神奈川県と同率にて1位となっております。全1625名のJリーガーの1割は東京都出身となっているのが現状です。（J1：55人、J2：73人、J3：40人）

※サッカーダイジェストWebより抜粋

また、高校サッカーでも全国高校サッカー選手権では昨年に引き続き出身都道府県ランキング1位（121名）（東京都はA・Bチーム出場ということもありますが）となっております。2019年全国高校サッカー選手権大会決勝には10名の東京都出身又は東京都3種登録チームの選手がスタメンにて出場を果たしております。さらに、全国大会優秀選手には7名と都道府県別では最多の選手が選出されております。

前置きが長くなりましたが、東京都のサッカーはこれだけの成果、結果を出しているから大丈夫と言いたいではありません。この結果には4種、3種、2種の沢山の指導者の方々、関係者の方々、数多くの方々の努力の結果により、現在に至ると考えております。現在がゴールなのではなく、育成強化、普及の流れは止めてはならないのです。そして、我々東京都クラブユースサッカー連盟所属の加盟クラブ選手、指導者の方々が、日本の育成機関のトップとしての誇りと、育成強化と共に普及活動の更なる活性化を図って行きたいと思っております。

そして、グラスルーツなくして東京都クラブユースサッカー連盟の発展はありません。現在の少子化の中、毎年増加してきた4種の登録人数が、一昨年減少に転じたとのデータがあり、3種年代も同様にこの分析を行い、対応策を検討する必要があります。現文部科学省の学習指導要領（1962年選定）に小学校体育の必修種目としてサッカーが採用され、全国の学校の校庭のほとんどにサッカーゴールが置かれ、私もサッカーと出会い、現在に至っています。しかし、2011年に指導要領改訂で必修からはずれ、必ずやるものではなくなりました。これを重く受け止め、クラブユース連盟及び各加盟クラブの皆様としても今後、サッカーをやれる環境整備と共に検証していかなければならない課題と考えております。

さらに、3・4種年代の子ども達のケガによる障害も問題となっております。残念ながら3種年代の中には、外傷や成長障害を軽視して、将来に影響する重度の障害になるケースも出ています。それを対処するには、スポーツドクターやアスレティックトレーナー（AT）、トレーナーの育成は欠かせませんが、特に3種年代の指導者の知識の向上が不可欠です。3種年代子ども達の日常に目を届かせるためには現在十分ではないと考えております。今後色々なアイデアを駆使して3種年代でのケガの防止、指導者の知識向上、啓発活動も実施して行きたいと考えております。

また、誰もが安心安全にサッカーが楽しめるよう、「差別」「暴力」「暴言」「いじめ」の根絶に、サッカーを通じて取り組んでいきたいと思っております。そのためにもウェルフェアオフィサーを育成、機能できるような環境を構築して行きたいとも考えております。

本連盟は今年より新体制にて運営をスタートする事になりましたが、今後は3年後を目標に法人格取得を関係機関と協議しながら今後さらに弾力的・効率的で透明性のある連盟運営を行い、加盟クラブの皆様へは多くの情報を発信する事をお約束したいと思います。

東京都クラブユースサッカー連盟は日本サッカーの育成の振興に関しリーダーシップを発揮していくことが今後より求められています。私は、大きな変革期に理事長に就任するに当たり、既存各クラブの皆様からの幅広い連盟の更なる発展への期待に応え、本連盟が国内においても国際的にも存在感を高めていけるよう本連盟事業と事務体制の一層の改革と充実に努めてまいり所存であります。

最後に私が理事長を務める期間に理事及び専門委員のメンバーと協力して、

- 1)各専門委員会の充実及び発展
- 2)加盟クラブの皆様、加盟選手、加盟選手保護者様にとって充実した環境でのサッカー活動の整備
- 3)リーグ戦の整備と関係機関との調整にてJリーグ試合観戦が出来るスケジュールの構築を目標とする
- 4)連盟法人化へ向けての準備及び財政基盤の安定と会計部門の健全化
- 5)事務局機能の安定及びスピーディな情報の発信を目指します

上記5項目を目標達成に向け努力していきたいと思っております。

皆さまのご理解、ご協力並びに、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。
まずは略儀ながら書中をもちましてご挨拶申し上げます。

◆東京都クラブユースサッカー連盟内にての役職

2006年 地域委員

2007年～現在 3地域理事

2012年～現在 関東連盟大会実施委員

2013年 東京国体（少年の部） 東京都選抜U-16チーム コーチ 全国優勝

2014年～現在 関東連盟大会実施副委員長

2017年 日本クラブユースサッカーU-15選手権全国大会 大会優秀選手選考委員

2017年 日本クラブユースサッカー連盟評議員

2018年 東京三種委員

東京都クラブユースサッカー連盟理事長

丸茂 敦